



第76号 昭和41年2月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

よ子に育てるための12章

第11章 テレビジョン 見方ひと

つで教科書に

テレビなども、番組次第見方次第で、りつはな学習になります。

計画をたて、よい番組を選んでえらび、ときにはみんなで話し合い、その内容を生きた教材としたものです。

農業構造改善事業

玉造上地区百ヘクタールの

区画整理を着工

玉造上地区改良区(組合員七九名、理事長橋川義雄さん)の、昭和四十年事業である、玉造上地区(県道石岡夕来線と高須中道との間)百ヘクタールの土地改良区画整理の土地改良区画整理は、一月七日から工事をはじめました。

これは、農業構造改善の基盤整備事業として、昨年度の揚水事業とあわせて本年度に完工するもので、農地開発機械公団の手によって、道路、用排水路の造成、灌漑などが行なわれ、三月末日までに全工事が完了する予定になっています。

工事のあらまし

道路幹線道路は、幅五・六、延長四・七九二、支線道路は幅三・六、延長五・七九九、用水路延長一四・四八八、中、支線、小用水路にわかれていきます。

排水路延長八・三三六、支線、小排水路にわかれていきます。基盤造成は、六九、六〇〇立方メートル。

議長 小野 口さん

副議長 山口 口さん

町議会から

第一回臨時町議会は、一月三十一日午前十一時からひらかれ、議長、副議長の選挙、常任委員の指名などを行ないました。

議長 小野口清
副議長 山口庄干

常任委員会

総務委員長 鈴木 一二

表土扱い 一四、九〇〇立方メートル
附帯工 二〇三万所
その他
工事費 三、二九六万円
補助金 二、二六九万円
地元負担 一、〇二六万円
(うち、八二万円は、農林漁業資金の借入れ)

工事の成果

耕地は、二区画三〇アール(三〇アール×一〇〇アール)を標準とし、用排水路は、それぞれの支配面積によつて断面をきめ、かけ流しなどの弊害をなくすため各水田の水位を、用水路にそつとつくりました。

農道は、各耕地に必ず接するもので、農耕作業の能率化、農作物の運搬など、すべての点で便利になります。

排水が完全にできるので、二毛作、ビニール栽培による特種作物の生産が可能になります。



綱領勝力、飯島豊雄
菅目義男
土木委員長 貝塚 国男
副委員長 大和田徳男
委員 根崎正夫、荒木田盛

委員 滝崎昇、村松重信

耕地配分計画

各部落ごと及び学級経験者から選ばれた委員により、評価委員会換地委員会が設けられ、計画をすすめて、三月末日までに公表することになっています。

配分の基準としては、①一戸あたり三〇アール未満のものは一団地とする。②二戸あたり三〇アール以上のものは二団地以上のものとする。③一団地とする、となつていきます。

及び地区界にまたがる土地については、宅地及び地区界に接続させ、耕作者の営農に支障をきたさないように換地します。

町発展のために

町議会議長

小野口 清

このたび、町議会議長に選ばれましたことは、まことに光栄であると同時に、感激の至りでありました。わが町は、過去十年間の積極的な諸施策の推進により、まことにめざましい発展を続けてまいりました。が、農業構造改善事業など産業経済の振興、校舎建築など教育施設の充実、町道の完修など建設面の整備、その他、前途に多くの重要問題が山積しております。

私は、十年間の議員生活を生かして、一その町発展のために誠意を尽す覚悟でございます。町民みなさんの、ご理解とご支援をお願い申しあげて、就任のあいさついたします。



日本人みんなの運動

―体力づくり―

戦後も伸びない体力

最近、どこへ行っても、近ごろの子どもは大きくなったが、体力が劣っている……という言葉を聞きます。

なるほど、統計を見ても、身長や体重は顕著な発展を遂げていることがわかります。しかし、体力については、統計資料やテスト種目の違いなどから、戦前と戦後を正確に比較することは困難ですが、常識的な推察からしても、戦後の体力が落ちてきていると断言する人は多いでしょう。

特にオリンピック東京大会を機会に、多くの人々が自分たち日本人の体力について認識を新たにしました。このことから、政府ではいち早く、関係閣僚懇談会を設けたのですが、このたび、関係各省庁が世話役となり、民間の関係団体に加わって、「体力づくり国民会議」が発足しました。そして、中央だけでなく、各地方にもこの組織を結成し、国民一丸となつてこの運動をすすめることになりました。

体力づくり県民運動協議会の発足

そこで茨城県でも、去年の九月知事を会長とする「体力づくり茨城県民運動協議会」を組織し、県庁の各課が世話役となり、百三十余りの関係民間団体の参加を得て、体育、スポーツ、レクリエーション、保健栄養の二部会を設けて発足しました。

皆さん既に承知のように、県では今年、第二十五回国民体育大会を誘致しようと、努力を続けているところですが、この国体誘致のねらいは、スポーツ施設の整備に伴って、多くの県民がスポーツに参加することであり、ひいては、県民の健康と体力の増進を目的としているのです。したがって、この運動を進めていくには、ちようどよい機会であるわけ

毎月七日は「健康の日」

この運動は、毎月七日を



「健康の日」とし、この日を中心として
○県民の栄養改善
○母性および乳幼児の健康と栄養の強化
○体力、スポーツ、レクリエーションの普及
○余暇の善用とグループ活動の育成
○集団訓練の強化
○健康的な環境の整備促進
といったことを行うのがねらいで、これに沿って今まで、具体的に、中高年齢層を対象にし、自己の体力の向上を図る、労働者体力づくり（各事業所を対象に、職場体操の普及、記念講演、スポーツ映画などの実施）、体力づくり巡回センターの運営（県内数カ所地域住民を対象に、健康検査栄養相談、健康体操の普及など役場職員が健康体操

を実施してきました。
一月七日には、体力づくり歩け運動を実施しましたが、「二月七日には、農山漁村体力づくり運動で、農山漁村の婦人を対象に、体操、軽スポーツ、レクリエーションの指導普及を図ることになり、更に、
三月七日には、妊産婦や乳幼児のための健康相談や体操、栄養指導をする「母子体力づくり運動」を進めることになり、町の「母子

死亡との関係はない

インフルエンザの予防接種

昨年十二月三日から四日にかけて、インフルエンザの予防接種をうけたことが、死亡するということがありました。

そのうち、東京と横浜の二例は同一社の同一ロットの接種をうけたものであって、このため、厚生省では、とりあえず、同ワクチン（東芝化学製番号七六〇）の使用を禁止すると共に、「予防接種との関係」を究明するため、臨床、病理の専門家や、死亡者の診断、解剖を行なった医師が集まって検討された結果、「予防接種と死亡との関係ありとは考えられない」という結論に達しました。そして昭和三十八年から実施している予防接種は、従来より続けた方針をきめたこととです。

○横浜の一例は、胸線リンパ体質

健康センター」もその会場に予定されています。
こういった事業は、それを実施することによって、みなさんに、体力づくりが重要なものであることを知っていただくのが、その目標なのです。そして、この運動の効果をじょうぶにあげるためには国の施策、ねらいが各都府県に及んだように、町にもゆとりを私たちが一人一人に広まっていかなければなりません。

くらしのしおり

☆虫ほしと春風の準備

虫が少なく、空気も乾燥しているので、二月は虫ほしの絶好期です。ほこりのたない日をえらんで、衣類や皮製品に風を当てるなど、やきやきおろしや紙屑を入れてあるものはよく十分風を当て、あらたに防湿、防虫方法をほどこして、しまひます。

☆三月の食生活
春とはいえず、一月はまだ寒さはきびしく、青野菜は不足がちです。もともと、このころは栽培技術の進歩で、ややおや、ではたいていの野菜が店頭に出ています。やはり、安くてビタミンCを豊富に含んでいますので、大いに利用しましょう。ゆでずいたり、煮すぎたりしないことがたいせつで、煮立ったお湯に入れ、ちようとして、火からおろし、二分ほどむすのが食べごろです。

肉類もこのころ高価ですが、くじりは安く、栄養価は他の肉類と変わりません。少しにおいがのどきう人がありますが、しょうがじよう油が、ミリンじよう油にネギをききこんで入れ、それにうけておくとおいしくいただけます。
☆火災とガス中毒
一月でいちばんこわいのは火災です。空気が異常に乾燥しており、ちようとした不注意から、たいへんな火災になります。日本ではまだ不造家屋が多くて、マッチ一本でも、さつと燃えひろがる危険があるのがこの二月の乾燥期です。『なにがなんでも火の用心』を家族全員が、近所同志が、町の人全部が守つてくれば、火災はおこりません。

家庭教育のあり方

―PTA研修会のテーマ―

玉造PTA指導者研修会が、一月十九日午前十時から、現原小学校を会場として行なわれました。玉造中学校PTAから二十四名、現原小学校PTAから六十四名、その他の小学校PTAから各五名が参加し、研究発表、分科会、県社会教育主事松井先生の講演と熱心に研修をつづけました。世界各國の子どものしつけから説きおこし、日本の家庭教育のあり方を述べ、「家庭教育の免許証を持つものは母である」と結んだ。飯島角蔵さん、望ましい家庭教育のあり方は、愛情をもつて子に接することが第一である述べた山口うらさん、おふたりの研究発表は、會員に深い感銘を与えました。分科会では、二つにわかれて、それぞれ熱心に討議をかきね、有意義な意見の交換が行なわれました。松井先生の「子どものしつけ」と題する講話は、子どもの反抗期を三段階にわけ、その特徴と対策を述べられました。その内容については、次号でお知らせします。分科会の記録は、次のとおりです。

第一分科会 家庭のしつけについて

助言者

手賀小学校長 横田美雄
玉造小学校長 藤崎源義
司会 玉造小学校PTA会長 栗原忠良

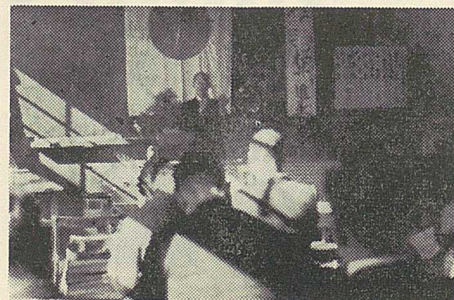
○ことばづかい（とくに、返事のし方）
○すなおに返事をさせるには、
・小さいときから、しつづけることがたいせつで、ことばだけの表現でなく、行動に移して表現できるように教えます。

・親の方が先に正しい返事をし親から子に伝えるようにします
・子どもの性格にもよる、多少違います。友だち同志間のな

れあいであることとす。

（助言者）家庭とは、楽しい、この場であり自由に話しあえるところとす。『この場』をつくるには、個々の性格、行動、様式が違つので、各家庭に応じた『ふんいき』をつくるように努力が、お互い同志で気をつけあつことがたいせつです。
②学習だけでなく、勤労の面にも力を入れて、
・宿題を口実にして、勤労をきらう傾向があります。
・当番制や、わりふりをして、義務の実行力をつけさせ、やらなければ兄弟同志で批判しあうなど、働かなければならないようにしむけます。

・子どもの世界にも、権利と義務があるはずとす。子ども自身の力で義務を果たしたときは、子どもの権利を主張させることも必要とす。
③金銭の問題（とくに、こづかい）
・子どもに必要な金は、ある程度与えてやり、使用するたびに月日、金額、使いみちを記入させておくと、かしくたてもなくなり、浪費も少なくなり、金の使い方がじようすになります。
・月給制をとっているかたがありますが、最初のうちは使いがじようすに、配分のしかたがじようすになります。
・多くの金をもたせるのは、教育上好ましくないで、小出しにした方がよいとす。
・現在の中学生の一月のこづかいは、五百円から六百円程度が多いとす。



第三分科会 家庭の学習について
助言者 玉造中学校長 手賀 勲
長 手賀 勲
羽生小学校長 根本良尚
玉造小学校PTA会長 関口眞次
①テレビの合理的な見させ方
・大部分の家庭が教育的な処置もできず子どもたちの自由にさせている各家庭一

（助言者）家庭内で、じようぶんに話して、使ひみちの限定をむりない程度でめておくとよいでしょう。月給制は「こづかいの使い方」を習う小学校四年生あたりがよいでしょう。
④子どもの生活態度。
・親の生活態度が、大きく影響します。
・子どものしつけをよとするには、親自身が注意することとす。
⑤母親から父親への願ひ。
・父親は、「子どもが待つてい」るといわれることが、一番つらいとす。
・父親も一しよになつて話し合の場、しつづけた機会をつくるように心がけてください。
・子どもの批判は、母よりも父に対しての方が強いとす。
・母親が子どもをしかるときは父は、子どもの側についてください。

☆幼児のけが
日本では子どもの事故の多いところで有名です。とくに、一歳から四歳までの幼児のけがが多いこと。こどものけがは、大半親の不注意が原因です。
・やかんをひっくりかえした、ゆたんの湯がもれた等、やけどによるけがが、大、ねこなどにかまれる事故、道路で急に車の前飛びだす交通事故など、気をつけてください。

はたちの発言 成人座談会



座談会出席者

【写真・左から】
齊藤 清子 農業（小座山）
成井 倫子 商業（下宿）
堀田 敏広 建築業（小座山）
伊藤 文子 公務員（横町）
本多 幸一 会社員（上宿）
清水 淳子 会社員（上山）
鈴木 啓幸 漁業（荒宿）
助言者 玉造町選挙管理委員長 青木 幸夫
司会 社教主事 鈴木 亮然

よい環境を よい環境を

司会 人づゝといふこと
座談会出席者
【写真・左から】
齊藤 清子 農業（小座山）
成井 倫子 商業（下宿）
堀田 敏広 建築業（小座山）
伊藤 文子 公務員（横町）
本多 幸一 会社員（上宿）
清水 淳子 会社員（上山）
鈴木 啓幸 漁業（荒宿）
助言者 玉造町選挙管理委員長 青木 幸夫
司会 社教主事 鈴木 亮然

そのために、町や国が、もつとそれな計画や研究に必要な資金を出し、若いこれからの人たちに、よい環境のなかへ導いてもらいたいのです。

司会 鈴木君から話の出来た、よい環境づくりについて、

司会 鈴木君から話の出来た、よい環境づくりについて、

☆ 一年十五日、成人式が行なわれ、町では、百四十八名の
☆ 若者たちが、新しくおとな仲間入りをしました。式の前
☆ 日十四日の午前十時から、そのうちから七名の方に青年研
☆ 修所に集まっていたとき、はたちになつての考え方、心
☆ まえなどを聞く座談会をひらきました。

成人の意義

司会 いよいよみなさんは、あした成人式をあげ、晴れて、おとなとしての権利をもたれるわけですが、成人になつての考え方、心がまえをうかがいます。

鈴木 一日で、急に環境が変わるものでもなく、まだひととなが、おとなとしての権利と義務を、法律的に与えられるという

う自覚と責任を感じています。

成井 成人式は、やはり人生の大きな転機期だと思えます。それは、法律的に、選挙権が与えられるとか、社会的にいろいろな権利義務が生まれるという、客観的なことほかに、自分自身の成長への一段階であることを含めてです。

助言者 みなさんの考えが、しっかりしていることを、力強く感じました。成人式の日を境にして急にどうこうということではなく、ただ、このような機会をもつて、改めて成人としての意義を考えてみる必要はあると思えます。

これからさき、人の意見を聞いたり、本を読んだりして、社会人としての知識を広めていくことがたいせつです。

とから、社会開発、地域開発というようなことがよく言われています。

進みつつある社会、変わりつつある社会のなかで、あなたがたはどういう心がまえをおもちですか

また、家庭から社会へのつながりを問題として、現在、将来にどの様な希望をもつていますか。

鈴木 戦争が終つて二十年、私たちは、ちょうど戦後と共に歩いてきて、ここに成人式を迎えたわけです。ここで、安定した平和な社会のなかで、なお、経済競争は経済競争と呼びたい程の、激しい情勢が存在するということに忘れてはならないと思えます。昔の戦争は、個人間の問題より、国家間の問題が主だったようですが現在の経済競争では、個人と個人企業と企業の問題が多いのではな

どの様に考えますか。

成井 私は、商業を手伝うかたわら、習いものをしていいますが農村から若い人が出て行くというところは、働らくところが少ないことほかに、健全な娯楽が少なくことに思っています。

鈴木 エレキとか、モンキーとかの非行化の問題に例をとつても、そのものが悪いのではありません、場所を与えない側の責任もあると思えます。暴力につながる原因を、おとながつくっているのではないでしようか。

本多 外面的に善悪をきめつける前に、個人の人間性を尊重してもらいたいのです。そして、私たちは、自分をよく見つめるといことがないかと思ひます。

農業のあとつぎ

司会 では、むずかしい「農業のあとつぎ」の問題についての考え方を……

清水 こすかいがたりないといふことです。親から理解してもらつて、多少金銭的な自由をもつて、ハウス栽培などの研究をしてみたいと思ひます。

齊藤 私たちの部落では、嫁に対するしゅうとの理解が深まっています。しかし、かげで、嫁の欠点を話しあっているなど、問題を点もあると聞いています。

堀田 こすかいは、与えるのではなく、勤労に対する当然の報酬であるという考え方にたつてもいいと思います。

私たちの作品



私の家のテレビは、買つてからちょうど二年目になる。

二年目なのになら、まだ、新しいはずなのに、あのころは、テレビがはじめて、父母にせがんでいたので古いのを買ったのだ。

もうそろそろ、じゅ命がきたらしく、ちよいちよい、こしようする。テレビの調子が悪くなったのは、前々のごとだが、つい最近、不思議なこしようをしたことがある。

それは、テレビの画面に何も写

「ふう、おそくまで見ていたからだっぺ」と言つて、しかたなくスイッチを切つた。父母も「新年そうそう、お金がまたでるなあ」と、にが笑ひしていた。

ところが、大みそかの夜、十二時までテレビをみたので、そのつかれたら写らない。うしろのしんくつかんが一本もつかない。

「ふう、おそくまで見ていたからだっぺ」と言つて、しかたなくスイッチを切つた。父母も「新年そうそう、お金がまたでるなあ」と、にが笑ひしていた。

私には、もうあきれかえつて、けしてしまつた。そしたる母が、またかけた。そしたる、何と、またかかったの



一月十八日、三年生から六年生まで、学校一久保地・井上神社をコースとして、マラソン大会を実施しました。みんな、寒さを吹き飛ばして元気走りぬぎ、りっぱな記録をあげました。

校内マラソン大会

児童会の呼びかけで、児童先生一同が、九千一百円のお金もちより、一月二十日、読売新聞社を通じて、青森県三沢市の大火の罹災者へおくりました。

また、衣類三つりを、青森県知事あてに送りました。

お金

三年 小田 洋子

お金はいせつです。お金がなければ、なにも、かえないからです。考えみると、ほんとに、いろいろやくなつています。お金がなければ、なにもかえないし、あれは学校でいりやうなものや、きるものなど、たくさん、かえ

でも、いちはんたいせつなもの、は、いのちです。だれでも、いのちをまもつてくれる人は、いないと思ひます。いちはんたいせつなのは、いのち。そのときは、おとなさんおかあさん、三はんめが、お金です。

世の中には、いちはんたいせつなのは、お金と思つていいる人がいるようです。お金をとるために人をころしたという話話をきくと、バカだなあ、と思ひます。そのために、自分のいちはんたいせつなものをなくすかもしれないのですから。

お金、はたらけはいいつくるし、むだづかいしなければ、そんなん、早くななるものではないといふ、わたしは、思ひます。

不思議なテレビ

六年 根崎 美知子

私の家のテレビは、買つてからちょうど二年目になる。

二年目なのになら、まだ、新しいはずなのに、あのころは、テレビがはじめて、父母にせがんでいたので古いのを買ったのだ。

もうそろそろ、じゅ命がきたらしく、ちよいちよい、こしようする。テレビの調子が悪くなったのは、前々のごとだが、つい最近、不思議なこしようをしたことがある。

それは、テレビの画面に何も写

家の中の人、みんな、ことごとそじゅ命が来てしまつたのか、と思つていた。

それから、テレビのない、静かな正月だった。三日のぼん、父がいた半分に、「なんで、このテレビ、これじゃったんだっぺ」と言つて、テレビをかけたみた。私は、しんくつかんなんてつかない、と知りながらうしろをみたら、電気がつき、今までのように調子がよつた。

父母、弟、妹も、「あれ、まあ」とばかりに顔を見合せて。

あくる日の昼、母がかけたら、またうしろをみたら、またうしろをみたら、電気がつき、今までのように調子がよつた。

父母、弟、妹も、「あれ、まあ」とばかりに顔を見合せて。

あくる日の昼、母がかけたら、またうしろをみたら、またうしろをみたら、電気がつき、今までのように調子がよつた。

いったい、このテレビは、何度こしよしたら、気がすむんだろ

それから、一回かけては写らないので、けして、またかけていつも見ている。

よくも、こんな不思議なテレビがあるものだ。

各月ごとに、計画された行事を実施しており、このほかに、りっぱな団員もできあがりました。

スポーツ少年団の結成は、町では、はじめてのもので、行方郡内十校の一つにはいつています。

三沢大火にお見舞を

児童会の呼びかけで、児童先生一同が、九千一百円のお金もちより、一月二十日、読売新聞社を通じて、青森県三沢市の大火の罹災者へおくりました。

また、衣類三つりを、青森県知事あてに送りました。

なわとび

一年 まつがね もとこ

わたしは、きょう、なわとびをした。

いっしょけんめい、とんだ。

あしあと、ならしながら、とんだ。

あせをかいた。

からだじゅうかいた。

あつくなつたので、やめた。

ああ、こわかつたなあ。

でも、いちはんたいせつなもの、は、いのちです。だれでも、いのちをまもつてくれる人は、いないと思ひます。いちはんたいせつなのは、いのち。そのときは、おとなさんおかあさん、三はんめが、お金です。

世の中には、いちはんたいせつなのは、お金と思つていいる人がいるようです。お金をとるために人をころしたという話話をきくと、バカだなあ、と思ひます。そのために、自分のいちはんたいせつなものをなくすかもしれないのですから。

理科の実験

玉川小六 小島 和子

玉川小六 小島 和子



学校ニュース

スポーツ少年団を結成

昨年十一月三日、各部落（藤井・荒宿・根古屋・西谷・西連寺）単位の、スポーツ少年団を結成しました。

これは、集団スポーツを通じてスポーツ精神を養ひ、体力の増進をはからうとするもので、青少年の健全育成と、集団行動の養成に大きな効果をあげることが期待されます。

各月ごとに、計画された行事を実施しており、このほかに、りっぱな団員もできあがりました。

スポーツ少年団の結成は、町では、はじめてのもので、行方郡内十校の一つにはいつています。

商工会欄

公庫の貸付額がふえました

国民金融公庫の、普通貸付額が一月一日から、次のように

かわりました

二百万円まで（無担保）

経営調査を実施

県下の、中小企業経営の実態を産業別、規模別、地域別に、計数によつては握り、それぞれの経営指針を求め、中小企業の経営合理化をはかることを目的として実施しました。

保険料控除の申告を

本年度の所得税の確定申告は、一月十六日から三月十五日までに受付けられます。簡易保険にはいつている人は、この際、忘れずに生命保険料控除の申告をしましょう。

所得から控除される保険料は、年間に払いこんだ保険料の額で、二万円までの部分については金額、二万円を越え、五万円までの部分については半額となっています。たとえば年間の払込保険料額が五万円の人は、

2万円 + (5万円 - 2万円) × 1/2 = 3万7500円

千円が所得から控除されるわけになります。この所得控除は、国税だけでなく、県税や市町村民税などの、住民税の課税所得を計算する場合も適用になります。ちなみに、三十八年度をとりみると、簡易保険の加入者が払込んだ保険料のうち、所得控除の対象となった額は一千二百七億円となっておりこれによつて加入者が受けた恩恵は百三十三億円の減税と推定されます。生命保険料控除の申告をする際一件について年間九千円以上の払込みがある契約については、保険料払込み証明書が必要です。簡易保険の場合は、郵便局の窓口か、簡易保険集金員に申し出られればすぐ発行できます。準備して

町でも十八店が協力しました。この調査が終り、指票が作成されると、各店の実態が、県下の平均にいつているかどうかがわかり今後の経営方針をたてるうえに、大きな役割りを果たすことになるでしょう。

従業員の福利厚生を

商工会では、各工場、お店の従業員の福利厚生をはかるため、次のような、代理業務を行なっています。

従業員の加入については、事業主の理解ある判断によつて、全部の事業所が加入されることを望みます。

大売り出し終わる

商工会の初の企画事業として実施した、三田明シヨ招待、年末年始大売り出しは、大きな人気を呼び、期間終了を待たないで、サービスマンが全部消化され、百パーセントの成果をおさめました。

お年玉の受取り期間 一月千日から七月十九日まで。

当せんしたときは、はがきのまま（切りとらないで）なるべく早く、もよりの郵便局へお持ちください。

お年玉つき年賀はがき当せん番号

等級	品名	賞品	番号
1等	ポラート	2型テレビ	260226
2等	トランジスタ	ラジオ	518237
3等	食器洗い	シンク	518237
4等	食器洗い	シンク	21065
5等	食器洗い	シンク	31416

手をあげただけではだめ

1 事故を防ぐ交通ルール

運転者

○周囲のふんい気に惑わされずに冷静に正しいルールを守って、安全運転を励行しましょう。

○交通禁制・無免許・酒酔い・スピード違反は、絶対に犯さない。これらの原因で起る事故は、みんな大事故になります。最も危険性の高いものです。

○一輪車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。

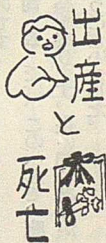
○車道連中での事故で死亡率高いのが、二輪車連中者の頭部損傷によるものです。

歩行者

○歩行者の事故で一番多いのが、横断中の事故です。

○横断歩道では手をあげて渡る。手をあげるとともに、運転者にあいすして渡ることが大切で、手をあげただけで、下を向いて横断する人を見かけますが、必ず車をよく見ながら横断することです。

○横断歩道でないところを横断する場合は、車の切れ目待って、じょうぶな間隔をとって渡りましょう。手をあげれば止まってくれ



◇おめでた

赤ちゃんの名 父 続柄

堀 竜明 健一 一男 竹の境

原田美智子 恒夫 長女 若海

郡司 礼子 信良 長女 竹の境

小沼 義則 正明 一男 戸沢

関口 正治 亘一 男 加茂

長谷川小夜 徹 長女 若海

山野とも子 広元 長女 徳木

甲 政子 太一 長女 内宿

石田 隆 庄蔵 一男 戸沢

川島 俊彦 金造 一男 浜

小林 正 恵弘 一男 沖

狩谷 智子 敏秀 長女 宿

伊藤 周一 専一郎 長男 竹の境

高野加代子 弥二 長女 西谷

小松崎かすみ 実 長女 宿

芳野 賢一 文夫 長男 柄貝

原田 和子 健治 長男 八木時

英保 すい 年 八四 部落

関 七郎平 七 一 羽生

大和田主一 六五 一 内宿

堀田 国松 六四 一 小座山

川井文四郎 七五 一 新田

渡辺 敏子 五一 一 上宿

橋本はつみ 六三 一 緑が丘

大輪 宗 一一 一 竹の境

風間忠兵衛 七九 一 上山

磯山カシク 五八 一 岸津

栗野 やそ 六九 一 加茂

石川 かつ 七三 一 西谷

発行所 玉置町役場 発行人 坂 威

編集広報委員会（定価一部10円）

印刷所 新はらき印刷局